

成功に導くための基準と  
ステップがわかる  
前歯部審美治療のルール



監著 小濱 忠一

A4判 228ページ 定価13,200円 (税込)

成功に導く考えかたと  
着眼点わかる  
歯内療法 of the ルール



著 澤田 則宏

A4判 132ページ 定価9,680円 (税込)

すべてがわかる！  
CAD/CAMデンティストリー  
ADVANCE編



監著 日本臨床歯科CAD/CAM 学会

A4判 116ページ 定価10,780円 (税込)

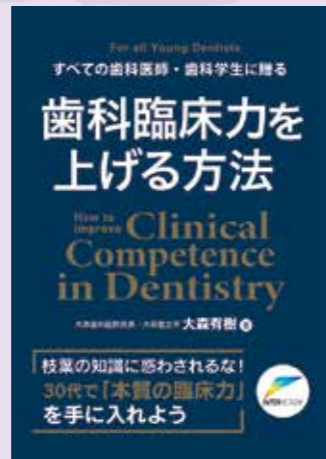
歯科医師のための  
言い換え事典 99



著 今蔵 ゆかり

A5判 124ページ 定価4,620円 (税込)

すべての歯科医師・歯科学生に贈る  
歯科臨床力を上げる方法



著 大森 有樹

四六判 126ページ 定価5,500円 (税込)

エビデンスを抑えておけば  
臨床現場も患者さんも楽になる！  
シンプル予防歯科



著 加藤 大明 / 芳賀 剛 / 加藤 雄大

A4判 104ページ 定価8,800円 (税込)



The Rule Book for Prosthodontics 3

構成要素から導き出す成功の原則

# 部分床義歯の ルール

The rule book for Removable Partial Denture

松延 允資 著

その部分床義歯の設計に  
根拠はありますか？

▶ 部分床義歯の  
パーツごとの役割と  
「守るべきルール」を徹底解剖

▶ 「噛めて、長持ちする」  
部分床義歯製作の迷いをゼロにする  
臨床現場の最強ルールブック



A4判 136ページ  
ISBN 978-4-909066-88-6 C3047  
定価 11,000円(税込)



松延 允資 福岡県 松延歯科医院 院長

【略歴】

2002年 九州大学歯学部卒業  
産業医科大学歯科口腔外科入局  
2005年 船越歯周病研究所勤務  
2008年 松延歯科医院勤務  
2011年 松延歯科医院継承現在に至る

注文票

品名	税込価格	冊数
構成要素から導き出す成功の原則 部分床義歯のルール	11,000円	



インターアクション株式会社

東京都町田市大蔵町 507-1  
TEL 070-6563-4151 FAX 042-860-3151  
http://interaction.jp

部分床義歯の設計・製作上必須の項目を

各構成要素の条件を

10のChapterに分類

ルール化して解説

成功への最短ルートを言語化した

# 部分床義歯・鉄則の全38か条

## CONTENTS

### PART1 まずは総論から

#### Chapter 1 部分床義歯の基本原則に関するルール

- Rule 01** 部分床義歯は、支台歯への負担を最小限とし、残存歯を保護するための装置である
- Rule 02** 部分床義歯には、2種類の負担様式がある
- Rule 03** 部分床義歯の動きに対する抑制作用は、支持・把持・維持の順に重要である
- まとめ** 部分床義歯の各種構成要素と支持・把持・維持機構

### PART2 各種構成要素のルールを守ること:それが成功の第一歩

#### Chapter 2 レストのルール

- Rule 04** レストはレストシートに適合してこそ、多様な機能を発揮する
- Rule 05** レストの形態はスプーン状とする
- Rule 06** レストと支台歯の歯軸のなす角度は90°以下とする
- Rule 07** レストシート形成前に、必ずガイドプレーンを形成しておく
- Rule 08** 歯間部レストは、歯間離開を起こさせないよう注意する
- Rule 09** 前歯部には、基底結節レストを使用する
- Rule 10** 遊離端欠損に隣接する支台歯のレストは近心に設定する

#### Chapter 3 直接支台装置のルール

- Rule 11** どの支台装置であっても、支台歯をクラスプで180°以上取り囲む必要がある
- Rule 12** クラスプの維持力は金属の弾性変形によって生じ、クラスプを意図的に曲げたり、太くしてはならない
- Rule 13** 用いるクラスプの種類により、適切なアンダーカット量が定められている
- Rule 14** 各種クラスプの維持腕、把持腕の正しい形態と設定位置を守る
- Rule 15** 遊離端欠損においては、エーカースクラスプよりも、RPIクラスプの方が有利である
- Rule 16** 遊離端欠損に環状型クラスプを用いる場合は、RPAクラスプを使用する
- Rule 17** クラスプの維持力が発揮される方向を考えて設計する
- Rule 18** 使用するクラスプを限定し、理解を深める

#### Chapter 4 ガイドプレーンと小連結子に関するルール

- Rule 19** 義歯の着脱方向と一致させるようなガイドプレーンを必ず付与する
- Rule 20** ガイドプレーンの形状は、曲面状にする

**Rule 21** 環状型クラスプでは隣接面板と拮抗腕に、パー型クラスプでは隣接面板と小連結子に付与する

#### Chapter 5 間接支台装置に関するルール

**Rule 22** 間接支台装置は、支台歯間線を考慮して設置する

#### Chapter 6 大連結子に関するルール

- Rule 23** 大連結子は強度の確保が大事
- Rule 24** 各種大連結子の選択時には、その利点、欠点、適応症を理解しなければならない

### PART3 ここをはずすな! 残存歯や歯周組織の診断と前処置

#### Chapter 7 術前診査に関するルール

- Rule 25** 欠損部と鉤歯だけを見るのではなく、一口腔単位で評価する
- Rule 26** 硬組織の評価では、顎堤の状態と骨隆起の存在を確認する
- Rule 27** 義歯の床縁設定のために軟組織の評価を行う
- Rule 28** サバイヤーを用いて模型診断を行い、義歯の着脱方向を決定し、ガイドプレーンとアンダーカットを確認する
- Rule 29** 診断の結果を踏まえ、補綴前処置を行わなければならない

### PART4 噛めて長持ちする部分床義歯の条件

#### Chapter 8 目指すべき部分床義歯に関するルール

- Rule 30** 「動かない義歯」=リジッドサポートの義歯
- Rule 31** 適切な鉤歯設計と適合の良い強固なメタルフレームを作製する
- Rule 32** 適切に床縁が設定されている義歯
- Rule 33** 適切な咬合関係を付与し、メタルティースを使用する

#### Chapter 9 遊離端欠損義歯に関するルール

- Rule 34** 歯と粘膜の異なる沈下量を補うための工夫が必要である
- Rule 35** 人工歯の頬舌径を削減する
- Rule 36** 義歯沈下の抑制にはインプラントが有用である

#### Chapter 10 部分床義歯のメンテナンスに関するルール

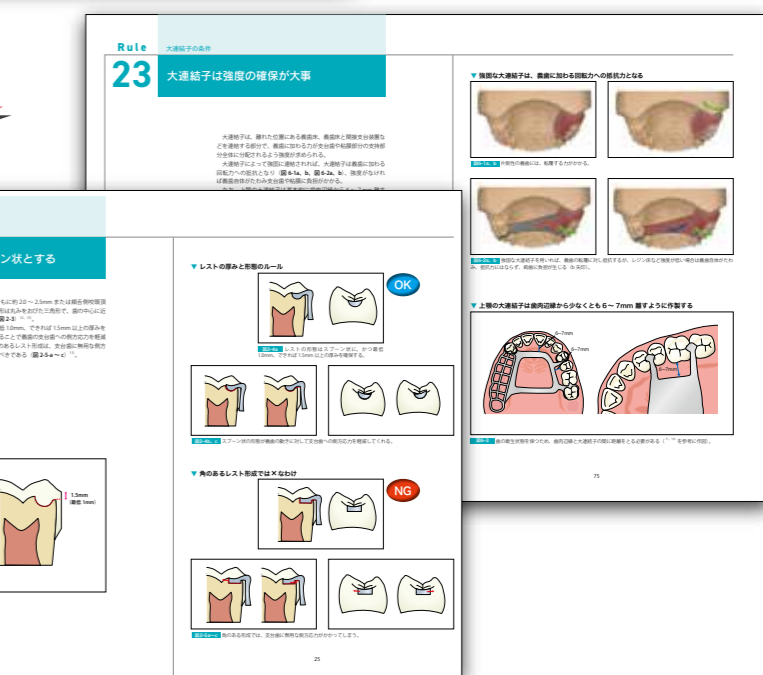
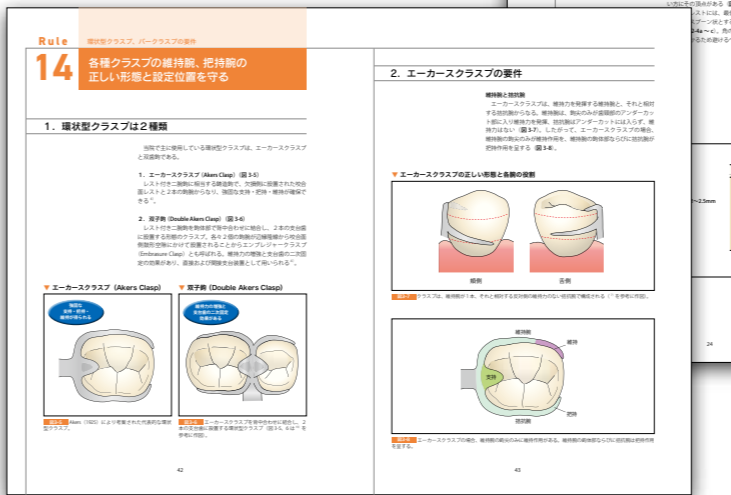
- Rule 37** 部分床義歯装着患者は定期的に残存歯、義歯のチェックを行わなければならない
- Rule 38** 遊離端欠損義歯においては、定期的に咬合接触と粘膜面の認を行う

おわりに 実際の義歯製作の流れ



残存歯や歯周組織への診断、前処置など一口腔単位での対応がわかる!

部分床義歯のパーツごとの設計のルールがわかる!



部分床義歯のゴールがわかる!

